



令和8年度 研究の方向性について

1 研究主題について(別紙:「令和8年度 教育研究計画」「研究構想図」)

本校の研究における2つの柱

- (1) 課題設定として・・・「日常の探究」と「算数科の探究」の両輪を回す課題の設定
- (2) 授業形態として・・・一斉授業を軸とした「協働的な学び」と「個別(最適)な学び」の取組

2 本校における「個別(最適)な学びと協働的な学びの一体的な充実」とは

	協働的な学び	個別(最適)な学び
ね ら い	<p>【加固希支男氏の書籍から】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他者との対話を通じて、問題を自律的・協働的に解決し、概念の形成や体系化を図ること。 ・個別学習を支え、より深い学びへとつなげること。 ・多様な考えに触れることで、数学的な見方・考え方を広げ、深めること。 	<p>【個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に関する参考資料(R3)から】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が自律的に「学習を調整する力(自己調整学習)」を育むこと。 <p>【加固希支男氏の書籍から】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分自身で課題を見つけ、<u>学び続ける子ども</u>を育てること。
	<p>一人ひとりの特性や興味に応じた「指導の個別化」と「学習の個性化」を実現し、誰一人取り残さない学びを提供すること。</p>	
手 立 て	<p>○児童による決定:「何を」「どのように」「どこで」「誰と」学ぶかを児童自身が選択・決定できる学習形態を導入する。</p> <p>○ノート指導の改革:ノートを「黒板を写すもの」から、「問題解決のために試行錯誤し、思考の軌跡を残すもの」へと位置付けを変える。</p> <p>○家庭学習(自主学習)の工夫:宿題に「指導の個別化」や「学習の個性化」の視点を取り入れ、児童自らが内容を調整できるようにする。</p> <p>○ICTの活用:一人一台端末を活用し、自分の学びの履歴を残したり、学習を調整したりすることを促す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柔軟な「行き来」の設計:単元計画の中で、一斉授業を軸としつつ、目的(特に単元中盤の適用の場面など)に応じて「個別」と「協働」を柔軟に行き来する場面を設ける。 ・視覚支援と価値付け:児童の発話から見方・考え方につながる表現を抽出して板書に残し、思考につなげる。 ・探究的な教材開発:「日常生活から算数を発見する教材」や「問いが連続する教材」を用い、共に解決したくなるような課題を提示する。 ・単元末の比較分析:単元導入時と後半で「活用・探究課題」を行い、協働的な学びを経てどのように考え方が変容したかを児童自身が分析できる工夫をする。 <p>※個別(最適)な学びは協働的な学びに支えられて成立するため、 以上の手立ては、ねらいによって個別(最適)な学びにも協働的な学びにもなります。</p>	

○については、4月からの積み上げが必要です。

3 学力向上のために今年度校内で取り組む事項

〈ねらい〉算数科授業を支える基礎的・基本的な技能の定着を図る。

(1) パワーアップ読み上げ計算ワークシート

取り組む場面・・・算数の授業の導入、チャレンジタイム（朝会時間）、日々の音読に取り入れる等

取り組み方

ステップ① 一人で計算の式を見て、1分間答えを声に出していく。

ステップ② 二人組のペアで、一方は答える役、もう一方は答えを聞いて確認する役として、1分ずつ相互に練習する。（最後まで読めたらもう一周）

(2) 朝学プリント計算

取り組む場面・・・チャレンジタイム（朝会時間）

事前準備

①学期に10枚以上、実態に合わせて必要と思われる分野のページを選択し、ふせんを貼る。

※前学年の内容でもよい。

②研修部等で印刷

取り組み方（例）

①5分程度で問題に取り組む。（実態に合わせて時間を変えても良い）

②全員で答え合わせ

③直し

④ファイルなどに保管

4. 甲山中学校区研究大会に向けた単元決定

〈進め方〉

・低学年部（1～3年）・高学年部（4～6年）・特別支援部に分かれて協議

・2学期単元の中で取り扱いたい単元を選ぶ。

※系統として入れ替えができない場合があるので留意する。

（例）5年「公倍数・公約数」を学習していないと「分数の足し算引き算」ができない

・選んだ単元の中から、本時として扱う時間・問題について協議する。

※各学年部で、内容が決定次第終了

〈今後の動き〉

・4/13（月）までに、各学年で扱う単元と内容の概要を研究主任に報告してください。

・決定したら、単元の指導書をスキャンして

04 研修部→★R8 研修部→指導案→指導書スキャン 内

に保存してください。

・決定した内容について、後日、管理職・学年部・研修部で確認させていただきます。